

議会だより

パワー全開 ハリケーン



遊佐中学校 大運動会

9月定例会

新庁舎建設に着手 平成30年度決算	P. 2
特別委員会設置	P. 7
4億100万円増額 令和元年度補正予算	P. 8
町政を問う 一般質問	P.10
町内の状況を視察報告	P.18
少年議会と町議会との意見交換会	P.20
議会クイズ・編集室より	P.22

に着手

一般会計 歳出

77億9494万円

前年度比 5億468万円 (6.1%) の減
決算の概況は4ページ

決算審査

特別委員会

補正予算審査

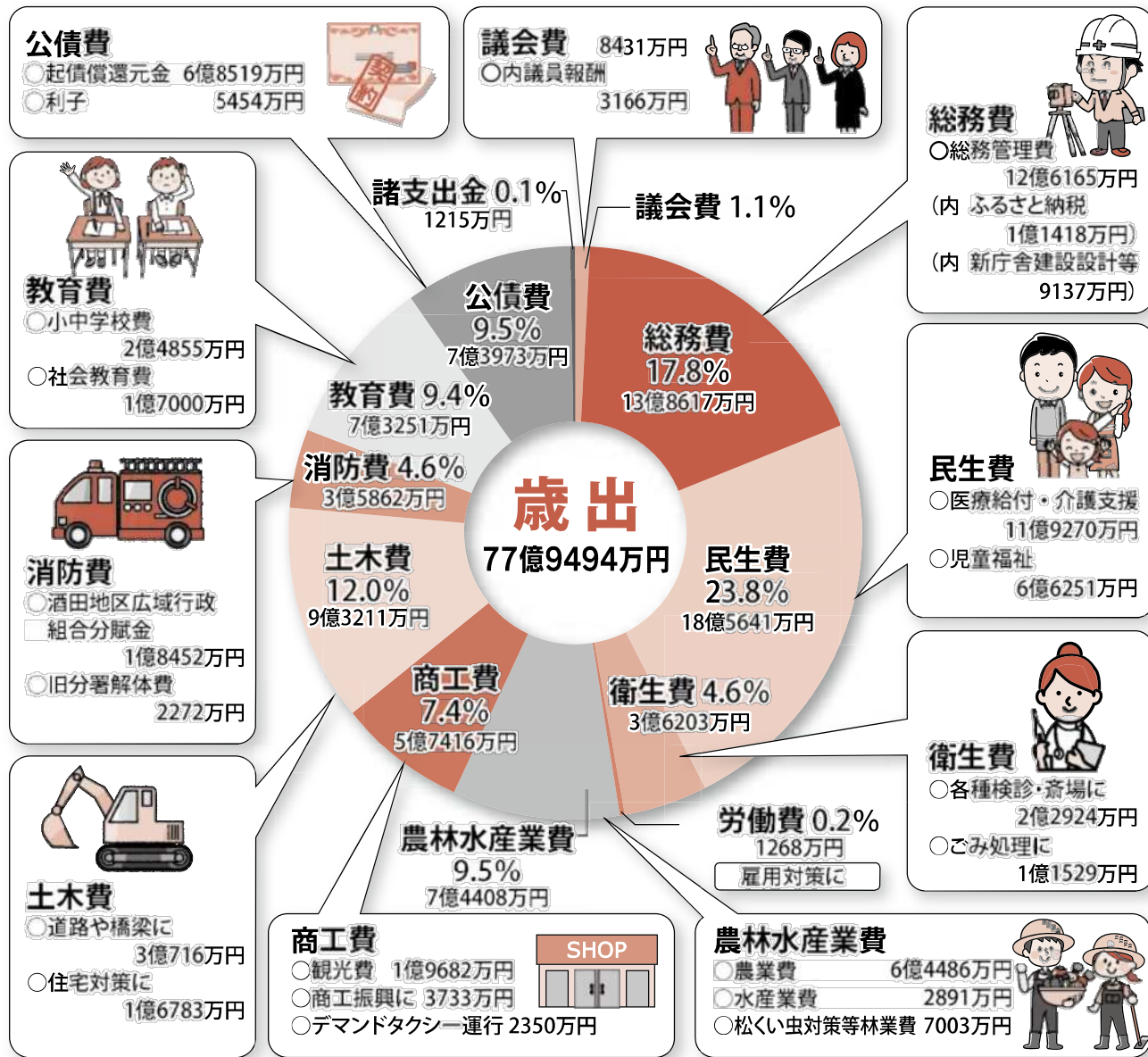
一般質問

採決結果

委員会報告

少年議会と意見交換

あの事業



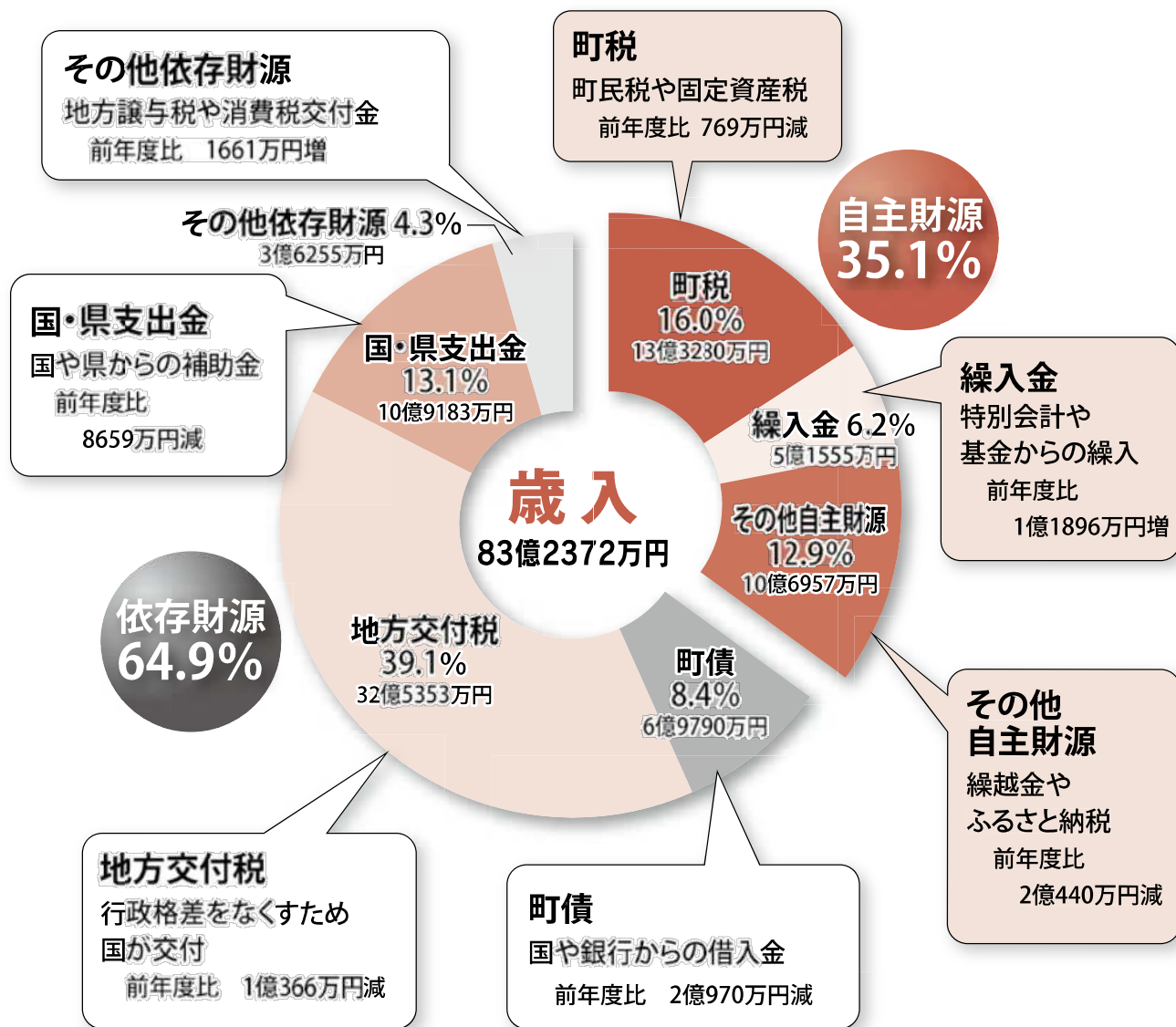
会計名	一般会計から特別会計へ繰出し金 (期首)	特別会計からの繰戻し (期末)
国民健康保険	1億1749万円	*3億569万円
介護保険	2億7448万円	744万円
後期高齢者医療保険	7190万円	602万円
公共下水道	3億7800万円	-

一般会計からの繰入は、各特別会計事業を維持するため、一般会計から補てんするもので、国からの補助金も含まれる。

※国民健康保険については、30年度より県が広域的に運営することになったため、国保税の値上抑止のために一般会計より繰り出されていた法定外繰出金2億8700万円が繰入れられた。(P4、6に関連記事あり)

30年度
決算認定

新庁舎建設



特別会計決算

会計区分	国民健康保険	介護保険	後期高齢者	公共下水道	地域集落排水
歳出額	17億7130万円	18億4040万円	1億7,401万円	7億5034万円	8631万円
前年度比	1億2190万円減	160万円増	185万円増	961万円減	38万円減

P4に関連記事あり。

水道事業会計

- 収益的収入
4億 38万円
- 収益的支出
3億8841万円
- 純益
1197万円

遊佐町議会だより

決算

質疑 あれこれ

決算審査特別委員会質疑

9月20日・24日

決算審査特別委員会

委員長 齋藤 武
副委員長 本間 知広

平成30年度遊佐町決算を問う

平成30年度遊佐町一般会計決算並びに特別会計決算5件・水道事業会計1件を9月17日、18日に各常任委員会にて、9月20日、24日に決算審査委員会にて審査しました。

決算審査とは

決算審査は予算執行が適正であるかをチェックすると共に、次年度の予算編成に改善と提案を求める場です。

平成30年度

一般会計決算の概況



景色が変わる新庁舎予定地

○平成30年度の歳入83億2372万円から歳出77億9494万円を差し引いた形式収支は5億2878万円の黒字になるが、翌年度に繰り越される事業財源6747万円を差し引いた実質収支は4億6131万円の黒字となっている。

この中から財政調整基金への積み立てや繰上償還金を除いた2億4875万円が繰越金として留保されている。

○国民健康保険特別会計は、平成30年度から県が広域的に事務処理することになったが、保険料の値上げを抑制してきた一般会計からの「法定外繰入」が出来なくなった。現在積み立てられている国保給付基金（約1億5000万円）が底をつけば、県からの借り入れで決算することになり、今後の課題となる。

※1 法定外繰入：国保給付基金の残額が逼迫した時など、特殊事情により一般会計から繰り入れを行うもの。
※2 国保給付基金：大規模な感染症、インフルエンザの大流行など、医療給付費の増大に備えたり、国民健康保険料金の値上げ抑制を目的に積み立てられた基金。

空き家施策の更なる拡充を望む

本間 知広 委員

問 これまでも町は移住定住事業において県内トップクラスの施策を実施してきた。空き家施策についてもニーズに敏感な対応を行い移住者が増えるよう、かゆいところに手が届く施策の拡充を望む。

企画課長

答 移住定住に関する事業や様々な支援策が、若者の移住につながっていると思う。具体的な要望があったところをその都度補ってきた結果、今があると思っているが、今後も歩みを止めることなく、現場の情報をしっかりと把握しながら対応していきたい。



リフォーム済みの中古住宅（六日町）



チャレンジファームを経て就農へ

遊佐町チャレンジファームに期待

那須 正幸 委員

問 農林水産業の後継者育成が目的の遊佐町チャレンジファームは、今年で4年目になる。定住へ向けての期待もあるようだが、何名の定住者がいて、2年間の期間を終えた後の支援は。

産業課長

答 チャレンジファーム事業は、これまで8人が利用し、現在6名が定住している。利用者の中には、国の農業次世代人材育成投資事業の対象となり、その後の数年間支援を受けている。その他、必要に応じて各種補助事業を適用している。

町税等 未収金の対応は

佐藤俊太郎 委員

問 町税に収入未済がある。徴収にあたっては、担当係員何名で対処しているのか。職務の性質上、身体的精神的な苦勞が多いと思われる。職員に対する町の対応は十分か。

町民課長

答 現在、町民課納税係として3名、ライフアドバイザー2名で通常の徴収業務を行っている。また、年に数回、徴収強化月間として町民課全職員並びに健康福祉課国民健康保険係・介護保険係の職員も動員し約20名で電話かけなどの催告活動を行っている。納税係だけに手当を出すといった特別なことはしていない。



差し押え品のインターネット公売

給水停止は慎重に

佐藤 光保 委員

問 町民のまさしく生命線である水道。料金の未納に係る給水停止措置について、慎重に行われたか。

地域生活課長

答 水道使用料の未納者に対しては、督促・催促

の文書のほか、電話連絡・自宅訪問等の対策を講じている。

これまでも給水停止により早期納付を求めると共に、完納が難しい場合は、計画納付を指導するなど対応に努めてきた。ただ、未納者が生活保護世帯や一人暮らしの高齢者世帯等については、福祉サイドとの連携を図り、生活状況を把握した上で、柔軟に対応している。



上寺配水池（30年度完成）

センターラインが消えている

菅原 和幸委員

問 町内の通学路は、路側帯は明示されているがセンターラインが消えた町道も目立つ。警告音を発する車で走行中にセンターラインに近づいたが、感知しなかった。線引きは、計画的に実施しているのか。

地域生活課長

答 センターラインについては、道路の幅員基準により実施している。ただ、幅員が十分確保されている道路でも、通学路の路線については、通学児童の歩行者帯を広げるためセンターラインを引いていない箇所もある。区画線の整備については、小中学校周辺を優先的に実施し、次に交通量の多い幹線道路について整備を行っている。



丸池様へのバスの通行が多い町道

図書館指定管理の町の基準は

阿部 満吉委員

問 図書館の管理委託料2846万円とした積算根拠の内容は。

答 図書などの購入は委託料に入らず、別に町の予算が組まれているが、本来図書司書が図書を選定貸し出しするので、委託料に含まれるのでは。

教育課長

問 指定管理料を大別すると、人件費1709万円、消耗品109万円、委託料328万円、諸経費702万円という内訳になっている。なお、諸経費には、光熱水費240万円を含んでいる。図書備品購入費300万円については、指摘のとおりであり、令和元年度から指定管理料に含めている。

国保の運営は大丈夫なのか

高橋 冠治委員

問 国民健康保険特別会計から、平成23年度、26年度までの法定外繰り出し金2億8700万円が一般会計から一括繰り込まれた。

答 給付基金残高が1億5000万円ほどだが今後の運営に支障はないのか。

健康福祉課長

問 本町の国保会計は、基金や一般会計からの繰り入れもあり、これまで7年間税率を据置いたまままで運営することができた。しかし、法定外繰り出しは公費の二重負担と見られることから、30年度に一般会計へ全額戻したことでにより国保会計の健全性を回復したものである。今後は残った基金を活用しながら、なるべく負担を上げないように運営していきたい。



松くい虫防除 地上散布

松くい虫防除 無人ヘリで

齋藤弥志夫委員

問 薬剤散布には1ヘクタール当たり23万円の無人ヘリ散布と10万円の地上散布があるが、無人ヘリ散布の方が効果は大きい。

答 単価との相談になるのだろうが無人ヘリ散布へ移行すれば、松林の保全には役立つ。

産業課長

問 松くい虫防除は、毎年地域の森林状況に応じて、効果の高い無人ヘリ防除と地上散布に分けて実施し、これまで多額の経費を支出している。その結果、松くい虫被害は平成28年度をピークに現在半減している。防除効果が大きいと言われる無人ヘリ防除は、経費が膨らむため、今後も予算を見ながら徐々に拡大したい。

2つの特別委員会を設置

改選後の議会構成にあたり、町の課題・議会改革等 調査・検討のため
2つの特別委員会を設置した。

鳥海山麓臂曲地区岩石採取に係る調査特別委員会

- 採石事業が自然環境及び地下水源涵養に及ぼす影響の調査
- 採石法等関係法令改正に向けた調査
- 裁判や各種情報の町民との共有

委員長：齋藤弥志夫
 副委員長：高橋 冠治
 小委員会委員：齋藤弥志夫 高橋 冠治
 齋藤 武 佐藤 光保
 設置期間 令和3年6月30日まで



議会の情報通信活性化に関する調査特別委員会



- 議会資料の簡素化と事務効率の向上
- タブレット端末の導入を検討

委員長：赤塚 英一
 副委員長：菅原 和幸
 小委員会委員：赤塚 英一 菅原 和幸
 阿部 満吉 本間 知広
 設置期間 令和3年6月30日まで

議会広報常任委員会
 町村議会広報クリニック
 (診断)

●研修日 7月11日
 ●研修先 全国町村議員会館
 (東京都千代田区)

●研修目的
 議会が担う役割の一つ、「議会だより」が町の施策を議会として、住民に伝える編集となっているか、広報誌としての編集視点を学ぶ。

●講師 グラフィックデザイナー 長岡 光弘 氏

「議会広報誌のクリニック視点」
 令和元年5月1日発行
 ゆぞ議会だより No. 144号をクリニック
 1. 議会広報誌としての編集視点

目的がしっかりしている広報誌になっているか。議案の内容をわかりやすく住民目線で解説を。
 2. 情報把握ができる誌面構成

流し読みでもわかるように情報のリード(解説文)を文頭に。

パラパラめくるだけでも見えるタイトルに。
 3. 住民に情報が伝わる編集か
 住民にはわからない行政用語があるので、皆さんにわかる言葉で。質問の長い文章に注意し答弁もわかりやすく簡潔に。

4. 住民に情報が伝わる紙面表現か
 視線的に変化をつける。文字の大きさを小さくすると行間が空き、読みやすくなる。

●研修を終えて
 議会だよりのページ組みや使う色刷りで、読みやすくなるアイデアはいっぱいある。
 わかりやすく伝えるだけでなく、住民の声も取り入れながら、発行ごとに改善を重ねていきたい。



役場新庁舎実施設計完成 11月に入札、本体工事へ

- 概要
- ・新庁舎本体工事がまもなくはじまるが、入札準備として建設前払金が追加された。
 - ・子育て・保育に望まれていた、0～2歳児向け小規模施設「はぐの家」が提案された。日曜・祝日も対応できる。

予算
質疑
あれこれ

補正のポイント	
ふるさと寄付金 ふるさと納税返礼品に	3040万円
子育て・保育 0～2歳児小規模保育所建設3/4補助	5610万円
新庁舎 建設前払金	1億640万円
住宅 舞鶴地区若者住宅設計・測量に	2500万円
スクールバス バス停新設 4カ所	174万円

令和元年度補正予算質疑
補正予算審査特別委員会
9月13日
委員長 菅原 和幸
副委員長 佐藤 光保

決算審査
特別委員会
補正予算審査
一般質問
採決結果
委員会報告
少年議会と意見交換
あの事業

若者住宅測量設計
なぜ補正予算で

本問 知広委員

問 現在の子どもセンター北側に舞鶴地区若者定住促進事業として測量設計委託料2500万円が計上されている。

これだけの金額にも関わらず当初予算ではなく補正予算での対応になったのはなぜなのか。

企画課長

答 事業予定地の取得について地域生活課で交渉を重ねてきたが、このたび用地取得の目途がついたことによる。

町内では青葉台団地が完売して以降宅地分譲地が無いことから、若者定住促進に定めるために、宅地分譲地を早急に整備したいと考えている。

遊佐中の
冬季バス通学は
那須 正幸 委員



可する予定である。

そのため、4カ所のバス停を新たに設置する必要があり、野沢バス停については集落内の旧バス停があった所へ待合室の再設置のために、工事費を計上している。

システム改修の
一元化は可能か
佐藤俊太郎 委員

問 各課で委託しているコンピュータ等のシステム改修については、窓口を一元化することができないのか。

一元化することによって経費の削減が図られると思うが。

答 11月からスクールバスの冬季ダイヤがスタートするが、12月1日からの降雪期にそなえて、1km以上の通学距離の生徒についてもバス通学を許

教育課長

総務課長

問 今回のシステム改修委託料については、地方自治法の改正に伴う「会計年度任用職員」の報酬等の支払いに対応するための人事給与システムやセキュリティ対策用サーバー更新等を行うもの。ソフトのシステム改修等については、総務課情報統計係が主導して対応にあたっていることから、一定の削減が図られている。

拡張性を考えた計画を

赤塚 英一委員

問 町の中心地の開発について、拡張性を考えた計画が必要ではないかと思う。

新庁舎建設に合わせ、土地購入も含めた開発計画を考える必要はないのか。

総務課長

答 新庁舎建設事業につ

いては、全体の配置は済んでいるが、全体的には狭いという印象である。もう少し土地があればというのが正直なところだ。

公用車駐車場、防災倉庫、緊急車両車庫、防火水槽等の確保が必要であることから、もう少し土地を確保し、新庁舎の利便性と周辺環境保全に努めた方がよいのではないかと考えている。

大平山荘 保守点検は的確か

齋藤 武委員

問 大平山荘は町の観光にとって重要な施設である。ところが今シーズン、営業期間中に配電設備から出火した。

予算面を含め、メンテナンスは的確に行われているのか。

企画課長

答 6月5日に分電盤から出火したものであり、原因は設備の経年劣化と

考えており、普段は使用していない電気回路に通電したことが引き金となったようだ。施設の管理については、4月の営業前に設備等の点検を行っており、不具合が発生した場合はその都度対応している。今後も、適切な管理に努めていく。

アスファルトからタンポボが

阿部 満吉委員

問 農地・水・環境保全向上対策の事業として、農道整備工事費が計上されている。



アスファルトからタンポボ

この事業での農道舗装は、こま切れであったり、舗装の厚さが薄く、すぐに雑草が生えたりする。適切な指導を望む。

産業課長

答 農道整備事業は、町単独の農道整備事業と多面的機能支払交付金事業（長寿へ命化）で実施しており、それぞれ町と各地区の農地水環境保全組織で完成後の検査を実施している。

事業完成後に雑草等が生えた場合は、業者による手直しを行い対応している。

乳幼児保育の課題は

高橋 冠治委員

問 小規模保育事業所整備に5610万円の補助金が計上されている。

0〜2歳児まで定員18人の保育と聞くが、既存の保育園等での保育に課題があるのか。

健康福祉課長

答 父母に加え、祖父母も就労等により家庭保育ができない世帯が増え、0〜2歳児までの入園児数が増加し、保育士の配置基準を満たすための有資格者の確保が課題となっている。

町長

民間の新たな小規模保育事業所が開設されることにより、保護者の選択肢が増えるとともに、保育園等への負担が軽減されるものと期待している。

聖火ランナー少年議会で選考を

齋藤弥志夫委員

問 オリンピック・パラリンピック聖火リレーが遊佐町内を通ることになった。

聖火ランナーの選考にあたっては、少年議会の立ち会いによって決めるのも一つの方法であると考えている。

町長

答 聖火ランナーの決定は大会組織委員会が行うことになっている。公平性を維持しつつ、若い世代に興味を持ってもらう必要がある。少年議会の立会いによって決めることは、我が町にしかできないことだと思う。候補者の推薦要請があった場合は、是非検討したい。

一般質問通告の要旨

◎=記事掲載あり ○=記事掲載なし
(通告順)

佐藤 光保 議員 ……P11

- ◎ 小学校5校統合
- 地域公共交通の確立と庄内北部定住自立圏構想

菅原 和幸 議員 ……P11

- ◎ 教育環境の変遷への対応

那須 正幸 議員 ……P12

- ◎ これからの遊佐町の未来ビジョンは
- 当たり前が通用しない災害対策は
- 遊佐中学校の通学バスの運行と災害時の運行マニュアルの有無は

赤塚 英一 議員 ……P12

- ◎ 遊佐高等学校への支援と対策は
- 水産振興の今後は

齋藤 武 議員 ……P13

- ◎ 農業振興をどう進めるのか

本間 知広 議員 ……P13

- ◎ 賑わい創出の一環としてチャレンジショップ(仮称)を造ってはどうか
- 比子地内産直施設「旧八福神」の全体的な活用のビジョンは

松永 裕美 議員 ……P14

- ◎ 災害時の避難所生活
- 東京2020オリンピック聖火リレー遊佐町通過に伴う町のPR企画

阿部 満吉 議員 ……P14

- ◎ まちづくり事業に望むこと

斎藤弥志夫 議員 ……P15

- ◎ ジオサイトの整備にクラウドファンディングの導入を
- 小学校の統合には100%町民の理解を

佐藤俊太郎 議員 ……P15

- ◎ ごみ処理基本計画
- 高齢者の交通事故防止対策
- 河川管理

高橋 冠治 議員 ……P16

- ◎ 大学生等の交流人口拡大に向けた町の考えは
- 遊佐高等学校の県外入試希望者への来期に向けた対応は

町の事業と課題を問う

11議員登壇

9月10日・11日

一般質問



元気で完歩するぞ (杉の子幼稚園)

一般質問とは

町の行政全般にわたって、問題や課題を明らかにし、政策の改善や新規の政策の採用を求めるために行います。

決算審査

特別委員会

補正予算審査

一般質問

採決結果

委員会報告

少年議会と意見交換

あの事業

小学校統合

十分な説明を



佐藤 光保
議員



合意形成を図りながら
施策を進めていく

町長と似た人口・面積規模のところでは、5校統合、1町1校のようなく、とてつもない事例があるのか。

地域の基本は「小学校区」といわれる。廃校学区にとつての行政の継続性・安定性についていかにか考えるのか。



高瀬小学校校舎 平成17年竣工

複式学級を懸念する保護者の心情は十分に拝察する。

この大きな課題について、町長が自ら町民に説明するべきではないか。

町長 旧象潟町の例を見ると、人口規模は比較的に似ており、平成30年度に3つの小学校が1校に統合している。

県内では、1町1校という意味では、西川町は24年度に5つの小学校が、舟形町と戸沢村は25年度に4つの小学校が1校に統合している。

最近の事例として、藤崎小学校の開校にあたって、開校準備委員会、稲川・西遊佐両まちづくり協議会で十分な協議もたれ、その後の地域づくりが取り組まれたと思う。まちづくり基本条例の規定を踏まえ、さまざまな機会を捉えて意見を聞く場をこれまで同様に確保し、各地区の主体性を尊重し合意形成を図りながら施策を進めていく。



校舎の利活用には地域の声を反映して

子どもたちと地域の声を 反映した計画づくりを



菅原 和幸
議員



空き校舎利用は
町民の意見を聞きながら

町長 現在の遊佐小学校の場所に、一つの小学校として開校するための「新校開校準備委員会」が組織された。本町小学校には、築後10年ほどしか経過していない校舎もある

があったようである。新校開校準備委員会において、小中一貫校についても検討項目に加えるのか。

新校が開校の場合、廃校となる校舎の利活用は、どのように進めるのか。

町長 町内の小中学校においては、小中一貫教育にまでは至っていないものの、教員が互いに情報交換や交流を行うことを通じて、小学校教育から中学校教育への円滑な接続をめざす取り組みを行っている。この中で、将来的には小中一貫教育を検討する時期が来るのではないかと考えている。

統合による空き校舎の利活用については、企画課が主体となり検討を進めることになるが、早めに行わなければならない。

新校開校準備委員会でも提言を予定しているとのことだが、まちづくり協議会をはじめ、町内の団体や多くの町民の意見も十分に取り入れていきたい。

人口減少を止めるには 企業誘致が不可欠では



那須 正幸 議員



働き場の創出により

雇用を確保

圃 合併65周年を迎え、次の世代につながる新たな町づくりを進めていかなければならない時期に

来ています。人口減少が進む中、各地域まちづくり協議会で地域サービスや、福祉



「貸工場」制度の導入も検討

などの予算の在り方にも先の見えない不安が残る。税金をはじめ、定住や移住に伴う条件として、働き場の確保がより一層必要となるが、町の人材雇用における企業誘致や独自で行っているアワビの養殖など、産業や働き場の確保をどう描いているのか。

町長 鳥海南工業団地をはじめ企業の進出と増設は、確実に雇用の創出につながっており、今後も新規立地等を促進すると共に、鳥海南工業団地再造成計画にあわせ、町で用地を取得し工場を建設、企業から使用料をもらう「貸工場」制度の導入も検討していく。

また、漁村センター内のアワビ養殖事業も一定の成果を上げており、養殖から加工販売まで行う企業の参加を促し、将来的には雇用の確保につながるよう取り組んでいきたい。



平成31年度 遊佐高等学校入学式

遊佐高等学校への 支援と対策は



赤塚 英一 議員



県外からの入学志願者
獲得に取り組む

圃 平成31年度の入学生が大きく定員割れをした。令和2年度も同様の状況になった場合、遊佐高等学校の統廃合が現実になる。

定員割れを防ぎ、高校存続を続けるための支援と対策を町はどのように考えているのか。

町長 遊佐高校の存続は、町の振興にとって極めて大きな課題であると考え、26年度から「遊佐高校支援の会」を事業主体として、各種の就学支援事業に取り組んできた。

30年度から県外出身者の入学が可能となったことで、県外からの入学者の獲得に向けた本格的な取り組みが行われている。

「遊佐町自然体験型留学生募集要項」に基づき、県外からの留学生の募集・選考が行われ、合格者が3月の入学試験を経て正式に留学生として認められ、「遊佐高校支援の会」を通じて、さまざまな支援を受けられることとなる。

今後とも支援事業の周知と充実を図っていききたい。

遊佐町の就農支援制度（一部 転載）

農業次世代人材投資事業（準備型）	
内容	都道府県が認める道府県農林大学校や先進農家・先進農業法人等で研修を受ける就農予定者
給付額	年額150万円（最長2年間）
問合せ	産業課農業振興係 TEL.0234-72-5882
農業次世代人材投資事業（経営開始型）	
内容	経営の不安定な就農初期段階の青年就農者に経営開始型の給付金を給付するものです。
給付額	年間最大150万円。（農業を始めてから経営が安定するまで最長5年間）
問合せ	産業課農業振興係 TEL.0234-72-5882
青年新規就農者の免許・資格取得を支援します	
対象者	農業次世代人材投資事業の給付を受けている方
対象免許・資格	大型特殊自動車免許・けん引免許、その他農業経営を行うために必要な免許・資格
補助金額	免許・資格取得にかかる教習料・受験料・受講料等のうち2分の1、上限10万円
問合せ	産業課農業振興係 TEL.0234-72-5882
空き農地バンク情報	
内容	空き農地の情報を管理し、定年帰農業者等に貸出しするものです。
問合せ	農業委員会 TEL.0234-72-5890

支援メニューは充実したが…

※居抜き：店舗・工場などを、設備・家具・調度などをつけてそのまま渡したり貸したりすること。

さらに、令和2年度から国直接採択事業でモデル的に「居抜き」の畜産生産改革支援も実施される。地域の実情に合わせて対応されることから、畜産以外でも適応できるか必要に応じて検討していきたい。

町長 地域から商店がなくなってきていることは非常に寂しい限りである。以前はどここの集落にもお店があり活気があった。もちろん中心街は商店が立ち並び賑わっていた。

それが昭和の終わりとともに社会環境の変化、いわゆる少子化、高齢化、後継者の問題など色々な理由が考えられるが、商店の数は減少の一途をたどってきた。

※DIY：業者に頼むことなく自分でさまざまなものを作ること。

提案のチャレンジショップも含めて、IJUターン促進協議会など関係者と十分協議しながら、今後の支援の方法等について検討していきたい。

町長 空き店舗の活用による賑わいづくりは、町にとっては大きな課題である。町は定住促進計画に基づき、IJUターン促進協議会が主体となって移住者に向け「空き家再生地域おこし事業」に取り組み「古民家カフェわだや」が平成29年度に、「パン屋小むぎ」が令和元年8月にオープンした。内装工事等を町民ボランティアによるDIYで施工したこと、愛着を感じる店舗となり、新たな賑わいづくりになっている。



思い出マップ 駐車場通り
(遊佐地域づくり協議会 提供)

賑わい創出は「チャレンジショップ」で



知広 議員
町長

「空き家再生地域おこし事業」に取り組む



武藤 議員
町長

地域の実情に合わせ対応

「居抜き」就農も 推し進めよ

町長 これまでも国の農業次世代人材育成投資事業に取り組み、5人と1組の夫婦が就農している。町のチャレンジファーム事業は、これまで国庫事業とあわせて活用され8人を支援している。これらの成果を踏まえ、今後も国庫事業と町単独事業を適宜対応し後継者育成に努める。

なり具体的な営農スタイルを予めイメージできる農業が元気であってこそ遊佐らしい景観も保たれる。思い切った策を講ずるべきだ。

町長 空き店舗の活用による賑わいづくりは、町にとっては大きな課題である。町は定住促進計画に基づき、IJUターン促進協議会が主体となって移住者に向け「空き家再生地域おこし事業」に取り組み「古民家カフェわだや」が平成29年度に、「パン屋小むぎ」が令和元年8月にオープンした。内装工事等を町民ボランティアによるDIYで施工したこと、愛着を感じる店舗となり、新たな賑わいづくりになっている。

災害時の避難所生活に必要な「間仕切り」導入を



松永 裕美 議員



避難所開設訓練に際して確保に努める

町長 災害対策をしっかりと考えることは、町民の生命・財産を守る上で、とても重要である。万が一の災害時に、体育館等の広い場所に長期間避難する際、プライバシーの確保に有効な段ボール製の組立式「間仕切り」を備品として加える必要があるのでは。着替えをする際や赤ちゃんの授乳時等にも必要品の一つである。また、訓練にも導入していくと、さらに効果を

発揮すると考えられる。町へ避難所生活に必要な「間仕切り」の導入を提案する。

町長 現在、避難所の間仕切りのための備品として、パーティションを確保している。

有事の際には、応急的な避難所運営組織を立ち上げ、運営方針を決定することに。

プライバシー確保については、ストレスによる病気発症、トラブル等を防ぐためにも配慮が必要だ。

さらに、災害協定に基づく段ボールの提供もあることから、これを使用する方法も想定している。

また、早急に避難者数に対する備品数の確保が難しい場合は、避難所が学校であれば保健室等の一部屋を妊婦用、着替え用に充てることでの対応も可能と考えている。

いずれにしても間仕切りとなる備品については段ボール製も含め数の確保に努める。



遊佐小体育館での避難所開設訓練



まちづくりワークショップ

地域活動交付金 現場の声は



阿部 満吉 議員



近隣自治体の事例等を参考にして検討していく

町長 平成23年度より、町職員による公民館事業にかわり、まちづくり協議会が地域運営を担ってき

た。これまで7年余りの間に町の人口減少も加速し、当初の狙いや地域の課題は変化してきている。

に作成している。活動を支える地域活動交付金、事務局運営の人材、雇用環境に問題はないのか。

町長 25年度から地区の将来像を描き取り組むべき目標・指標を定めることを目的とした「まちづくり計画」に着手。4地区で策定済みとなっている。これにより地区の目標が明確になり、総合的に事業を進める上でとても有効であると考えている。

まちづくり協議会の活動は、地域活動交付金での活動となるが、当初予定していなかった事業を年度途中で実施する場合は追加で交付した事例もあるので、担当に相談して欲しい。

事務局運営については、人材確保の観点から待遇改善を求める要望もあり、近隣自治体の事例や町の臨時職員の制度改正等を参考にして検討していきたい。

丸池様や胴腹滝の整備に ネット寄付の活用を



齋藤 弥志夫
議員



ジオサイトの整備に活用でき
るのか検討していきたい

個別のジオサイトの整備はジオパーク認定以前と全く同じである。整備する場合は各市や町が全額支払うことになる。ジオパークは資金がなく、ジオサイトを十分整備で

きない状況が多々起こっている。私は町内のジオサイトを整備するための資金集めとしてクラウドファンディングを提案する。インターネット経由で



駐車場の整備が待たれる丸池様周辺

多くの人々からわずかな寄付を集め、利用することで目標に到達するというコンセプトである。

その資金で、丸池様周辺の駐車場整備や公衆トイレ設置などジオサイト整備をしてはどうか。

町長 ジオパークの普及活動推進のために、各ジオサイトに見どころなどを紹介する看板の整備、簡易トイレの設置等を行ってきた。ジオパークを紹介する拠点施設整備については、鳥海山・飛鳥ジオパーク推進協議会が平成27年度から拠点施設整備費の基金積立に取り組みしており、その有効活用も含めて財源確保に努めている。

丸池様周辺については、駐車場や遊歩道等の整備の必要性を強く認識しているが、一帯は史跡鳥海山及び国定公園区域に加え、周辺は農業振興地域でもあるので、制約が多い。その整備手法等について協議・検討している。



粗大ゴミも資源

粗大ゴミ（自転車等）を 資源物に



佐藤 俊太郎
議員



鉄は資源として回収

町で粗大ゴミとして収集している自転車等は、一部リサイクル業者では資源物として回収している。町でも同様に資源物として取り扱うことができ、鉄は資源として回収することとなる。検討してはどうか。

町長 「遊佐町一般廃棄物処理基本計画」に基づき、ごみの排出抑制を図るとともにごみの分別収集を推進し、ごみの再資源化・ごみ減量化に取り組みながら、酒田市・庄内町とともに構成している酒田地区広域行政組合において広域処理を行っている。

各集落の環境推進員を中心とし、ごみ減量化に向けた取り組みにより、町から排出されるごみの総量は年々減量傾向になっている。

自転車等の粗大ゴミについては、酒田地区広域行政組合に搬入されると破砕され、その後、鉄くずとその他ごみに仕分けを行い分別処理後、鉄は有価物として管内業者に売り払われている。

学生の目から見た遊佐町は



高橋 冠治
町長

アンケートの実施方法を
含め検討したい

町には県外から夏季を中心によくの小学生から大学生まで訪れ、その目的は修学旅行や自然体験・大学のゼミなど幅広い範囲に広がっている。学生には遊佐町はどう映っているのか、どんな魅力があるのか、また課題があるのか町は詳しく調査したことはない。せっかく多くの若者が遊佐に来てくれる。統一したアンケートなど実施して外から見た客観的な数字で課題を分析すれば、

遊佐の魅力の再発見や若者定住にもつながる。早急にデータ化すべきと思うが。

町長 大学生などが町内で活動する場合に、町に届け出や申請をするというルールはないので、その全てを把握するのは困難と考えている。

一方で、町内で活動をするにあたって事前に相談や協力要請があれば、その目的に添うように支援を行っている。

平成30年は、城西大学の陸上部が合宿をしており、観光協会を通して支援を行った。最近の例では、慶應義塾大学と日本女子大学の混声合唱団「コールメロディオン」がしらい自然館で合宿を行ったが、その受け入れに当たっては町内の関係者で実行委員会を組織し、合宿中の活動を支援した。アンケートの実施については、その方法も含め検討したい。



コールメロディオン 練習風景

みなさんの思いを町政に 町民と議会の懇談会を開催します

- テーマ**
- ①地域の課題を話そう
 - ②町の施策に望むこと
 - ③その他なんでも

お近くの会場にお越しください

11月16日(土) 午後1:30~
(概ね2時間程度)



3カ所で開催

	会 場	議 員 メ ン バ ー
A会場	藤岡まちづくりセンター	高橋 冠治 齋藤 武 佐藤俊太郎 本間 知広
B会場	西遊佐まちづくりセンター	土門 治明 齋藤弥志夫 阿部 満吉 菅原 和幸
C会場	吹浦防災センター	赤塚 英一 松永 裕美 佐藤 光保 那須 正幸

問い合わせ 議会事務局 72-5889

9月定例会の審議結果 一般会計補正予算他26件

議案番号	議案名	内容	審議結果
議第53号	令和元年度一般会計補正予算(第3号)	財政調整基金積立に2億3065万円、新庁舎建設の前払い金1億640万円など4億100万円を増額	賛成多数で可決
議第54号	令和元年度国民健康保険会計補正予算(第1号)	高額医療費1040万円など1500万円を増額	全員賛成で可決
議第55号	令和元年度公共下水道事業会計補正予算(第2号)	修繕費200万円など差し引き65万円を増額	全員賛成で可決
議第56号	令和元年度地域集落排水事業会計補正予算(第1号)	職員手当不足分など40万円を増額	全員賛成で可決
議第57号	令和元年度介護保険会計補正予算(第1号)	償還金2881万円など4010万円を増額	全員賛成で可決
議第58号	令和元年度後期高齢者医療会計補正予算(第1号)	一般会計に繰出し300万円を増額	全員賛成で可決
議第59号	平成30年度各会計歳入歳出決算の認定	平成30年度一般会計ほか、特別会計6件の決算	賛成多数で認定
議第60号	遊佐町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の設定	いわゆる臨時職員について、給料、休日手当、通勤手当、時間外手当及び期末手当等を条例で定めるもの	全員賛成で可決
議第61号	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の設定	法改正にともない、職員定数及び特別職等の関係条例を整備	全員賛成で可決
議第62号	遊佐町印鑑条例の一部を改正する条例の制定	住民基本台帳等、情報のデジタル化にともない条例を整備	全員賛成で可決
議第63号	遊佐町水道給水条例の一部を改正する条例の制定	消費税の改正にともなう条例の改正	全員賛成で可決
議第64号	遊佐町下水道条例の一部を改正する条例の制定	消費税の改正にともなう条例の改正	全員賛成で可決
議第65号	遊佐町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定	消費税の改正にともなう条例の改正	全員賛成で可決
議第66号	遊佐町西浜コテージ村の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	利用実態に即した利用料金の改正	全員賛成で可決
議第67号	遊佐町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額に関する条例の一部を改正する条例の制定	子ども・子育て支援法の改正により、保護者の負担額を整備	全員賛成で可決
議第68号	遊佐町農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の一部を改正する条例の制定	農業委員会に関する法律の規定により、農地利用最適化推進委員について規定を整備	全員賛成で可決
議第69号	遊佐町水道事業会計剰余金の処分	地方公営企業法の規定により剰余金を決算処分するもの	全員賛成で可決
議第70号	町道路線の認定	御所ノ馬場地内の宅地造成にともない、町道を認定	全員賛成で可決
議第71号	令和元年度 橋梁長寿命化修繕計画事業(大規模更新) 広畑橋下部工工事請負契約の締結	広畑橋橋脚基礎工事請負契約	全員賛成で可決
議第72号	小型動力ポンプ付積載車の取得	小型動力ポンプ付き積載車2台を導入、高瀬地区に配備	全員賛成で可決
議第73号	遊佐町教育委員会委員の任命	教育委員会委員の再任に同意	全員賛成で同意
議第74号	遊佐町農業委員会委員の任命	農業委員会委員16名の任命に同意	全員賛成で同意
議第75号	遊佐町固定資産評価審査委員会委員の選任	固定資産評価審査委員の再任に同意	全員賛成で同意
議第76号	人権擁護委員候補者の推せん	任期満了となる人権擁護委員の再任に同意	全員賛成で同意
発議第4号	烏海山麓臂曲地区岩石採取に係る調査特別委員会の設置	採石事業が及ぼす影響等調査、採石法等改正について調査提言	全員賛成で可決
発議第5号	議会の情報通信活性化に関する調査特別委員会の設置	議会資料の簡素化及び事務効率向上のための調査・検討	全員賛成で可決
発議第6号	議員派遣について	各常任委員会の管外視察を提案	全員賛成で可決

◎ 9月定例会の傍聴者数

(単位:人)

日程	内容	男	女	計
9月10日(火)	本会議・一般質問	9	4	13
9月11日(水)	一般質問・補正予算上程	14	15	29
9月13日(金)	補正予算特別委員会・決算上程	1	1	2
9月20日(金)	決算審査特別委員会	0	1	1
9月24日(火)	決算審査特別委員会・本会議	0	1	1
計		24	22	46

総務厚生常任委員会

委員会 レポート (管内視察)

実施日 8月2日

救命率の向上対策

救急車心電図 伝送システム

酒田地区広域行政組合が、1市2町内に配備している救急車に「12誘導心電図伝送装置」を導入した。救急要請の病状により必要に応じ、心電図データを、搬送先（日本海総合病院・徳洲会余目病院）に伝送、病院側は救急車到着前に病状が確認できる。



伝送システムの説明

《視察を終えて》
救急車に搭載される機器は、小型測定器とタブレットが一体となったもの。意外にコンパクトだ。救命率の向上に期待したい。

災害への備えは万全に

吹浦地区における 津波対策

吹浦地区は、平成31年3月東北初の津波災害警戒区域に指定された。指定範囲内には、吹浦保育園があり、避難確保計画を作成する必要があるため、避難経路等について確認した。



吹浦保育園

《視察を終えて》
6月18日夜半に発生した「新潟・山形地震」の発生の避難状況を勘案し、避難計画の策定、公表を早期に行うべきである。

隊員の定住化に期待

地域おこし協力隊 起業等支援事業

町では、平成23年から「地域おこし協力隊事業」に取り組んでいる。町への定住及び町の活性化を図ることを目的とし、隊員の起業等を支援する事業を31年度からスタートさせた。

30年度まで隊員だった方が町内で服飾雑貨を扱う会社を設立、支援事業の対象者第1号となった。

《視察を終えて》

日本古来の着物の生地「独自感性」と視点で取り組みされていた。今後の事業展開に期待する。

福祉型小さな拠点づくり事業

西遊佐まちづくりの会

地域生活支援事業「エプロンサービス」に取り組む西遊佐地区では、令和元年度「福祉型小さな拠点づくり事業」に取り組んでいる。

高齢者の居場所づくり

を通し、健康と暮らしを支えるセーフティネットの構築を目指している。

《視察を終えて》

県が1/2を補助する単年度事業であることから事業継続に対し、町の支援をとの意見があった。



全国自作視聴覚教材 コンクール優秀賞 受賞

特別養護老人ホームと 多機能型事業所

特別養護老人ホームゆうすい、多機能型事業所ゆうとびいについて、利用者の状況、活動状況を調査した。

ゆうとびいの利用者が制作に関わったちぎり絵紙芝居「遊佐のアマハゲ」が9月に全国自作視聴覚

教材コンクール優秀賞に輝いた。

《視察を終えて》

ゆうとびいでは法要などで使用する「塔婆」の制作も行っており、上りも良く町内の需要も多量のことであった。



ちぎり絵紙芝居『遊佐のアマハゲ』

その他

- 空き家対策関連事業
- 臂曲地内岩石採取事業申請地
- 丸池様における周辺整備の現状
- 子育て世代包括支援センター事業
- 遊佐町の人口動態
- 基金積立状況

文教産建常任委員会

委員会
レポート
(管内視察)

実施日 7月29日

子どもたちの熱中症対策

小中学校に

エアコン設置

近年猛暑による熱中症が多発している。国は「ブロッコ塀冷房設備対応臨時特別交付金」を制定した。

当町でも全小中学校の普通教室及び特別支援教室に合計52台のエアコンを設置した。

今回は遊佐小学校の教室を視察した。総経費は2億円あまりの事業である。

《視察を終えて》

教室に入ると涼しく、快適に授業が受けられると感じた。

しかし屋外での活動もあるので教室だけではな



遊佐小学校エアコン

く、熱中症に対する総合的な対策も行っていかなければならぬと思った。

6次化加速せよ

旧八福神の活用

平成31年4月に町は大阪有機化学工業㈱と旧八福神について賃貸借契約を結び、遊佐町地域活性化拠点施設として活用を開始。その進捗、今後の展望について視察した。

現在は建物1階北側約260㎡を食品加工スペースとして、予算は4100万円の改修を行っている。今のところ入居予定は1事業者のみである。今後は公募も含めて空きスペースの活用を検討していく方針。

《視察を終えて》

具体的な活用内容が決まっているのは前記の加工施設部分だけで残りのスペースについては未定である。

希望者の内覧や公募も行うとのことであったが

各課の連携をより密にし、色々な活用の可能性を模索していく必要があると感じた。



旧八福神

町道の改良

畑西線道路改良事業

広畑橋を含む全長約1.7kmの改良（一部開通済み）事業である。

令和元年度については、上戸から月光園に入る所まで（約290m）と広畑橋の橋台部分（右岸側）の工事が行われている。合計予算約1億700万円の事業である。

《視察を終えて》

広畑橋は白井地区の広野集落から高瀬地区の畑集落を結ぶ橋である。橋は前後の道路も含めて、

道幅は狭くカーブもきつい箇所があり、冬期間の圧雪凍結時にはかなり危険な区間である。

視察時は道路拡張のため雑木の伐採工事を行っていた。全線開通するとバイパスのように畑集落を通らずに上戸集落までつながる。道幅もかなり広がり、車も通りやすくなる印象を受けた。

早期の開通を望む。



町道畑西線

美しい海岸をふたたび

比子海岸浸食対策事業

県管理となる鳥海国定公園内の比子海岸では、冬期間の風浪などにより、近年、砂浜の浸食が著しい。危険防止対策や良好な景観を保全するために、

浸食防止施設を整備する事業である。

《視察を終えて》

実際に見ると海岸の浸食は防風林であるクロマツ林の直近まで迫っている。

「ヘッドランド」という構造物を構築することで、浸食を防止している状況だった。安全で美しい砂浜がよみがえることを望む。



ヘッドランドで浸食を防止

その他

- 「農事組合法人アグリ南西部」ビニールハウス
- 345号張り出し歩道
- 女鹿漁港防波堤
- し尿中継施設
- 丸子橋
- 上寺配水池



遊佐町少年議会

with



町議会

＼今にして初めて／
第17期 少年議会と町議会の意見交換会

今期、少年議会の政策の一つであった少年議会と町議会の意見交換会が10月1日に開催された。
3班に分かれ、町への思いを世代を超えて話し合った。

少年議会からのテーマ

- 少年議会と町議会が一緒に出来ることは
- 少年議会の活動をみんなに知らせたい



グループワークで意見交換

町のホームページの少年議会記事にたどり着けない



議会だよりにコーナー作っちゃお

小学校6年生に少年議会の活動を伝えよう

仲間ふやせたら何が出来る

若い人に知ってもらえたら一緒にできることが増える



だったら100人を超えるOBにも手伝ってもらおう

活動時はユニフォームを着てアピールしよう

夏の盆踊りや11月の音楽祭に協力できないかな

◎世代は違えど遊佐町を思う気持ちはどちらも負けない。
設定された時間では足りないほど、意見交換はつづいた。

あの事業はどうなった



① 除雪機械格納庫新築工事 1億5400万円 工期 令和元年12月27日まで

中学校西側に建設中
これまで町民体育館から
民間の倉庫に間借りしていた除雪機
やっと定住の格納庫に
町所有の除雪機18台を格納
稼働時はドーザ4台 歩道ロータリー2台の
基地となる

② 民間活力賃貸住宅建築促進事業

若者住宅、9月に4棟完成

待ち望んでいた若者向け住宅を
民間活力で建設 戸建ての2LDK
新庁舎南側宅地に4棟完成
3棟は入居者決定
(残り1棟は移住者用として確保)
定期借地権方式を導入し町と事業者間で
50年間の賃貸契約を結んでいる



③ 新庁舎建設用地造成工事 4970万円 工期 令和元年8月30日まで

新庁舎建設を待つこの土地
9月実施設計確定
11月建設工事入札決定(予定)
12月着工(予定)
住民にやさしい 価値ある庁舎を



議会を傍聴してみませんか

12月定例議会のご案内

遊佐町議会は、年間4回の定例議会が開催されます。
12月定例会は、本会議と補正予算特別委員会が議場で行われます。
一度傍聴してみませんか。

12月定例議会の予定

- 12月3日(火)本会議・一般質問
- 12月4日(水)一般質問
- 12月5日(木)常任委員会
- 12月6日(金)補正予算特別委員会・本会議

※変更する場合もございますので、傍聴の際はあらかじめ議会事務局(☎72-5889)にご確認ください。

表紙の写真

ハリケーン

第27回遊佐中学校大運動会が行われた。
ハリケーンは、中でも白熱する競技。力を合わせる事が何より大切、さらに一人ひとりが楽しむことがもっと大切。
3年生にとっては一番思い出に残る行事である。何年たっても友だちと過ご



た時間を忘れず大切にしたい。
応援する声为空に響きわたり、遊佐の夏が終わる。

議会クイズ



102

令和元年7月1日第145号の議会クイズには48名の方の応募があり、48名の方が正解でした。
抽選の結果次の10名の方が当選し、あぼん入浴券(3枚)をお届けします。

答え ①B ②B ③A

(敬称略)

- 高橋 恒子 (田地下)
- 佐藤 静雄 (下当上)
- 土門 京子 (宿町三)
- 池田 隆 (境田)
- 菅原 綾子 (駅前一)
- 佐藤 誠子 (下当上)
- 鳥海 洋子 (上蔵岡)
- 後藤 喜八 (六日町)
- 池田 ひとみ (旭ヶ丘)
- 三浦 頼子 (谷地下)

問題

- ① 国民健康保険特別会計の中で給付基金の残高は。
A 5000万円
B 1億5000万円
C 2億5000万円
- ② 小中学校に整備されたエアコンの台数は。
A 52台
B 53台
C 54台
- ③ 町のチャレンジファームでの支援者数は。
A 4人
B 8人
C 12人

応募方法

ハガキに答えの記号

(例①A ②B ③C)

それに住所、氏名、年齢、集落名を書いてください。
(正解者の中から10名にあぼん入浴券(3枚)をお届けします。ご応募いただいた方の個人情報、この議会クイズ以外の目的には使用しません)

☆

ハガキの余白に答えのほかに議会へのご要望、ご意見をいただければ大歓迎です。

☆

あて先/999-8301
遊佐町遊佐字舞鶴211
役場内 議会事務局
締め切り11月27日
発表は次号です。

編集室より

今年の櫺(けい)の落ち葉は小ぶりなのだそう。環境変化に敏感な櫺のこと、地球温暖化の警鐘を鳴らしているのかも知れない。
そういえばこの夏も殺人的に暑かったなあ。小中学校の教室にエアコンが設置されたのもこの夏だ。視察した若手議員が、「教室にエアコンが必要になったか」と驚いていた。

夏の暑さもさることながら、大型台風の度重なる襲来が気になる。
地球人よ本気になれ。

発行人

阿部満吉

議長 土門 治明

議会広報常任委員会

- 委員長 阿部 満吉
- 副委員長 那須 正幸
- 委員 菅原 和幸
- 委員 齋藤 武
- 委員 佐藤 俊太郎
- 委員 本間 知広